

議会報告会（委員長報告）

委員会名 総務常任委員会

開催日時	平成30年2月27日（火）午前9時30分から
開催場所	議会全員協議会室
報告者	高野洋一委員長、保坂令子副委員長
出席議員	高野洋一委員長、保坂令子副委員長、竹田ゆかり委員、山田直人委員、飯野眞毅委員、森功一委員、永田磨梨奈委員
報告内容	（件名及び審査概要） [市役所本庁舎の移転整備など公的不動産利活用の取り組みについて] 現在、市役所本庁舎の深沢地域整備事業用地への移転整備と現在地の跡地活用をはじめ、梶原四丁目用地（以下、野村総研跡地）、扇湖山荘、資生堂鎌倉工場跡地の活用に向けた検討が進められています。 このことを含めた全体方針の「公的不動産利活用推進方針」を策定するため、パブリックコメントの公募をおこない、市民から106通の様々な意見が寄せられ、議会に報告されました。 なかでも大きな関心事となっている市役所の移転については、市民への周知が不十分、進捗状況を周知徹底してほしい、市民の参画を図り、市民の意見やアイデアを集める工夫をしてほしいなど、これまでの検討や進め方に対する意見が多くありました。整備の内容については、現在地の整備に関して、鎌倉駅に近い立地条件をいかした観光案内所や商業施設の配置、市民が憩える場づくりや中央図書館の移転拡充といった意見の他、本庁舎の移転に反対という意見もありました。移転先の深沢地域整備用地の活用方針については、本庁舎機能に関する意見や深沢のまちづくりの視点からの意見が寄せられました。 こうした意見や公的不動産利活用推進委員会での議論などを踏まえ、3月末に鎌倉市公的不動産利活用推進方針が策定されました。 ・市役所現在地は「市民サービスの提供、公共施設再編と民間機能の導入による賑わいや憩いの創出」の場として整備する ・市役所の移転先は深沢地域整備事業用地とし、本庁舎とともに「消防本部や総合体育館と一体となり、シビックエリアを形成する」としています。また、 ・野村総研跡地には「自然環境をいかした利活用と企業誘致」をおこなう ・扇湖山荘は「自然環境をいかした歴史・文化を継承する利活用と旧邸宅群の一つのシンボルとして先導的な活用」を図る ・資生堂鎌倉工場跡地の市への寄付用地は「利便性をいかした企業誘致」をおこなっていくとしています。 当委員会では、本庁舎の移転等整備については、意見公募において市民への情報不足について多くの意見が出されたことから、まだまだ説明が必要であり、今後これまで以上に様々な手法を活用し、検討経緯について丁寧な説明をおこなっていくという市担当部局の姿勢を確認しています。市では今年度中に本庁舎等整備の基本構想を策定するため、準備が進められています。